

光 昌 雲 慶



発行所 島根県隊友会
編集協力 出雲駐屯地 広報室
印刷所 (有)福岡秀文堂



新年のごあいさつ

第13偵察隊長兼出雲駐屯地司令
2等陸佐 安河内一彦



平成29年明けましておめでとうございます。
隊員及びご家族の皆様、そして出雲をご覧の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の出雲駐屯地を振り返りますと、1月早々に寒波・大雪に伴う断水による浜田市及び安来市での給水支援災害派遣、4月には熊本地震対応のため、約2週間に及ぶ南阿蘇村での生活支援及び災害復旧工事を主体とした災害派遣、10月には鳥取県中部を震源とする地震対応の給水支援災害派遣と猛威を振るう自然災害への対応が大変多い年でありました。

駐屯各部隊は、そのような突発的な任務にも柔軟に対応しつつ、各部隊長を核心として日々の訓練等に真剣に取り組み、練成目標であった訓練検閲や競技会で持てる力を存分に発揮して、素晴らしい成果を獲得しました。

また、7月の駐屯地サマーフェスタ、11月には12回目となる出雲市内での観閲式(市中パレード)などの各種行事や地域のイベント、更には防災訓練など地域に根ざした活動に力を注ぎました。

10月には待望の新本部庁舎が落成し、地域の安心・安全のより所として、新たな歴史を刻み始めるなど、忙しい中にも大変充実した1年でありました。

これもひとえに、隊員及び部隊を支えられたご家族や協力団体皆様のお力添えの賜物であり、深く感謝いたします。

いよいよ新年がスタートしましたが、我々第一線部隊が為すべきことは、即応態勢を維持し、いかなる事態においても関係機関及び自治体等と連携を図り、迅速・安全・確実に任務を達成することであり、これまでも些かも変わることはありません。地域のため、国のため、これまで同様に隊員一人ひとりの力を結集し、高い実力を保持した組織を作り上げて参る所存でございます。

どうか本年も、変わらぬご厚情を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、隊員及びご家族皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶

島根県知事 溝口善兵衛



明けましておめでとうございます。陸上自衛隊出雲駐屯地の皆様方におかれましては、健康やかな新春をお迎

えのことと心よりお慶びを申し上げます。我が国を取り巻く情勢は、北朝鮮による相次ぐ核実験や弾道ミサイルの発射、尖閣諸島周辺をはじめとする南西地域での中国の動きなど依然として厳しい状況が続いております。

国内におきましても、昨年は、皆様方も出勤された4月の熊本地震をはじめとして、8月の台風10号など数々の台風の接近・上陸、10月の鳥取県中部地震など、甚大な被害をもたらした自然災害が各地で発生しました。

県内におきましても、皆様方におかれましては、1月に浜田市において大雪・低温による大規模な断水が発生した際の迅速な給水活動、11月の原子力防災訓練や、県内の自治体が実施する防災訓練への参加など、鳥根の防災に多大なご協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。

こうした出雲駐屯地の活動は、県民の安全・安心の大きな支えとなっております。県としましても、皆様方や関係機関と連携しながら、安心して暮らせるしまねの実現のため、更に取組を進めてまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたしますとともに、皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

新年のごあいさつ

出雲地区防衛協力会

会長 長岡秀人



謹んで新年のお喜びを申し上げます。安河内司令をはじめ、出雲駐屯地の隊員のみならず、平素からおかれましては、平素から我が国の

平和と安全のため、また、本地域に対して多大なるご尽力を頂いていることに深く敬意を表し、感謝を申しあげます。昨年を振り返ってみると、出雲駐屯地では、サマーフェスタや市パレードの開催を始め、新庁舎の完成といった明るい話題がありました。

一方で、災害も数多く発生し、浜田市への給水支援、熊本地震及び鳥取県中部地震への救援活動のため、出雲駐屯地からも多くの隊員が出勤されました。また、自衛隊を取り巻く情勢も、平和安全法制関連2法が施行されたことに伴い、南スーダンの国連平和維持活動に派遣された部隊に「駆け付け警護」の任務が加わりました。自衛隊の任務は拡大し、国民の自衛隊に対する期待は益々高まっています。

そして、東アジアの情勢が緊迫する中、長い海岸線を有する本県にとっても、出雲駐屯地に対する期待が大きくなってまいります。災害対応の面からも、出雲駐屯地が身近に存在することは大変心強く、また、「出雲大

学駅伝」や「くにびきマラソン」などの地域行事、「出雲市防災訓練」等にご協力いただき、身近で頼りになる、欠くことのできない大きな存在となっております。出雲地区防衛協力会としても、引き続き支援活動を行っていく所存です。終わりに申し上げますが、出雲駐屯地の皆様のおかげ、新年のあいさつといたします。

新年のご挨拶

公益社団法人隊友会鳥根県隊友会

会長 持田佳郎



年頭にあたり我が国の平和と繁栄そして地域の安心、安全を願ひ、出雲駐屯地の隊員、鳥根県隊友会会員並びに特別会員の皆様ご家族共々の栄誉をお祈り申し上げます。昨年は、国内外において様々な未知との遭遇を見聞・体験し混迷

の度は増すばかりの状況です。このような遭遇戦の中におきましても自衛隊は些かも怯むことなく黙々と任務の遂行に努めておられる姿に唯々感謝の気持ちで一杯であります。先の国会で、最高司令官たる総理が「自衛隊、警察、消防は頑張っている。ありがとう。」と拍手喝采されました。

新年のご挨拶

出雲駐屯地を知る会

会長 高橋英一



謹んで新年のお喜びを申し上げます。出雲駐屯地におかれましては、平素から我が国の平和と安全のためまた、地域の災害支援活動などに取り組まれていることに深く敬意を表します。

昨年は、災害の多い年であり、4月の熊本地震や9月の東北・北海道への台風被害の発生、秋の鳥取中部地震などの大きな災害が多発しました。その時の自衛隊の災害救援活動の報道に強く感銘を受けています。また、出雲駐屯地創立63周年を記念したパレードを、出雲市役所から出雲市駅までの中心市街地に開催されましたことは、出雲駐屯地の存在を多くの市民の人々に

知らせていただくとともに、地域防災の拠点となり、ますますその重要性が増して駐屯地機能の拡充がなされますようにできる限りの支援を継続していききたいと思っております。特に鳥根県は離島を含めた長い海岸線を持つ守りに加えて、韓国との竹島をめぐる領土問題などを抱え非常に重要な地域です。そのような状況で救難活動、災害支援、国際貢献活動などの多くの職務に少数精鋭であつたっていただき心から感謝を捧げたいと思います。本年も出雲駐屯地の更なるご発展と隊員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

第304施設隊長

2等陸佐 渡邊岳史



新しい年を迎えまして、あらためて日本の平和と繁栄を願ひますとともに、隊友会並びに駐屯地協力会の皆様、各隊員及びご家族皆様にとって今年一年が益々実り多きものとなりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨今不安定さを増す東アジア情勢、国内においても頻発する自然災害等、それらに対する自衛隊への国民の期待も増大しています。施設隊も災害派遣として浜田断水被害、熊本地震災害への対応に当たり、無事に任務完了することが出来ました。昨年は通常の隊務運営に加え、それら災害派遣への対応、訓練検閲の受閲、部隊改編の準備等もあり、隊員にとってもそれを支える家族にとっても非常に多忙感の残る一年となったことでした。

新年のごあいさつ

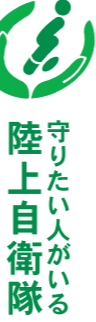
出雲駐屯地業務隊長

2等陸佐 星野正行



隊友会、駐屯地協力会、隊員、ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は業務隊長として後方業務また災害派遣に於いての派遣部隊に対する兵站支援を実施し無事任務を完了することができました。また年末に新庁舎に移動し各機能、勤務環境が充実しました。本年におきましては、新庁舎の

特性を生かし業務隊各科が持つ総務、管理、営繕、補給、糧食、衛生、厚生、共済等各業務を総合し一層のサービス向上を図りたいと考えております。また、災害派遣を始めとする各種事態対処におきましても部隊としての万全の備えを実施し各部隊に対する支援体制を充実させていきたいと思います。今年も業務隊長所属隊員各人が団結し、隊が一体となり任務を完了していきたくと考えておりますので皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



守りたい人がいる 陸上自衛隊

地域の皆様と共に歩む 出雲駐屯地



守りたい人がいる 陸上自衛隊

新年の挨拶

第104施設直接支援大隊 第1直接支援隊長



1等陸尉 梶原心一郎

広報紙「出雲」をご覧の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。昨年は、4月に発生した熊本地震災害に対し、約3週間、整備員等を派遣して、被災支援部隊に対する支援任務を無事完了しました。また、6月に大隊長訓練検閲を受閲し、部隊精強への資を得ることができました。

着任以降、訓練、実任務等を通じ、日々隊員が成長している姿を実感しております。隊員一人一人の努力も当然のことながら、駐屯地を支援してくださる方々及び隊員のご家族のご支援・ご協力の賜物であると深く感謝しております。今後も任務に迅速に対応するだけではなく、あらゆる任務を完遂できるよう隊員一同精進してまいりますので、第1直接支援隊へのご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に、今年1年が皆様にとって良き1年となることをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

第32基地通信中隊出雲派遣隊長 2等陸尉 安野正樹



新年あけましておめでとうございます。隊友会並びに駐屯地協力会の皆様方、出雲駐屯地の隊員、ご家族が健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私自身、着任して3度目の新年を無事迎えることができましたことは、皆様のご支援・ご協力のおかげと感謝いたしております。昨年は、新庁舎完成に伴う通信回線の移設という大きな工事を派遣隊一丸となって実施し、その任務を完遂することにより通信科部隊として大きく成長することができました。本年もこの貴重な経験を糧とし、常に即応体制を整え、駐屯地ユーザのために安定した通信提供・確保に全力で邁進する所存でございますので、ご支援・ご協力を宜しく申し上げます。

最後に、今年1年の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶

第36会計隊出雲派遣隊長 1等陸尉 中山貴行



出雲駐屯地の皆様、新年明けましておめでとうございます。無事新年を迎えることができましたのも隊友会、駐屯地協力会の皆様方、駐屯地隊員、ご家族のご支援・ご協力の賜物であると深く感謝しております。

さて、昨年の隊務を振り返りますと方面会計隊長訓練検閲、各種競技会と多くの練成を通じ心技体の充実を図ることができ、実り多い年となりました。また、開庁当時から慣れ親しんだ深い出雲市から真新しい庁舎へ移転し、良き伝統を継承しつつ新たな歴史を作る年となりました。

本年も、引き続き会計科精神「作戦目的達成のため各部隊を支援する」を胸に刻み派遣隊員一同、一致団結して任務達成に邁進する所存であります。引き続きご支援・ご協力をよろしく申し上げます。最後に、今年1年が皆様にとって良き1年となることをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶

第132地区警務隊出雲連絡班長 2等陸尉 阪本信次



駐屯地の隊員及びご家族の皆様、広報紙「出雲」をご覧の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

駐屯地警務隊連絡班長に着任し、2度目の新年を迎えますが、着任以来、各種任務の達成に邁進することができていますのも、皆様のご理解・ご協力、ご支援の賜物と感謝しております。昨年を振り返りますと、熊本地震・鳥取中部地震にかかる災害派遣部隊に対する警務支援、地区警務隊訓練検閲等、実務及び訓練において、現時点の実力を発揮できた1年であり、また、駐屯地創立記念行事等において、昨年に引き続き、広報支援をすることができ、地域基盤の充実を図ることに寄与することができました。

本年も、連絡班は少人数ではありますが、駐屯地の一員として、駐屯地各部隊等のニーズを常に意識し、それに合致する対応ができるようにベストを尽くす所存でありますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、今年1年が皆様にとりまして、良き1年になりますことをお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

第13後方支援隊第2整備中隊 偵察直接支援小隊長 3等陸尉 飯田光



新年明けましておめでとうございます。広報紙「出雲」をご覧の皆様におかれましては、今年1年が皆様にとって良き1年となることを祈念申し上げます。

さて、昨年の隊務を振り返りますと、熊本地震災害派遣のほか、第1・2次旅団検閲や小隊検閲、旅団射撃競技会及びこれらの練成を通じて、小隊の整備能力・野外行動能力を大きく向上させることができました。

本年も、あらゆる状況において整備支援を実施できるよう、小隊一致団結して精進してまいります。引き続き、偵察直接支援小隊へのご支援、ご協力をよろしく申し上げます。最後に、今年1年が皆様にとってより良い1年となることを祈念申し上げます。

最後に、今年1年が皆様にとりまして、良き1年になりますことをお祈り申し上げます。

祝 定年退官

永年の勤務お疲れ様でした。

偵察隊

陸曹長 錦織 修二 (12月13日付)

帰住先：出雲市多伎町



業務隊

3等陸尉 秦 治 (12月22日付)

帰住先：出雲市神西新町



1月定年退官予定者

1直支隊

陸曹長

山本

康夫 (21日付)

3月定年退官予定者

業務隊

2等陸曹

森本

貢 (1日付)



隊友会活動

「出雲市防災訓練」に参加

事務局次長 築森寛喜

島根県隊友会 (会長 持田佳郎) は平成28年9月1日、出雲市役所くまびきホール及び四絡コミュニティセンターにおいて、平成28年度出雲市防災訓練に各団体と共同し20名が参加した。

0830地震 (想定震度6弱) 発災。3組編成後、机上訓練では、被災者支援と災害ボランティア活動についてプロジェクター活用、講師自身熊本での体験談話。特に、発災から復興までの過程の重要性、ボランティア活動各種の対応要領等を再認識した。

また、ワークでは、NPOによる被災地ボランティアワークのあり方を実習。炊き出し訓練では、ガス炊飯等で150食の配食、緊迫した状況下を想定し、1200所期の成果を収め終了した。

海岸清掃活動

大社支部長 豊田彰二

島根県隊友会大社支部 (支部長 豊田彰二) は平成28年11月9日の神迎神事に先がけ、11月3日、会員10名が町民とともに稲佐の浜海岸一帯を清掃した。

八百万の神々を出雲に迎える神事に備え、漂着物等を一掃し、指定集積場に運搬、大勢の参拝者が見込まれる海岸のクリーン作戦を約1時間で終了した。

慰霊碑の清掃活動

出雲北支部長 中谷 旭

島根県隊友会出雲北支部 (支部長 中谷 旭) は平成28年11月13日、会員18名で早朝から地元、高松地区戦没者忠魂碑の清掃等奉仕活動を実施した。作業終了後、戦没者に献花拝礼し、追悼の誠を捧げた。

また、年間の活動状況等を省みながら慰霊顕彰事業の継続実施を誓い散会した。

読み終わったら
家族にも見せよう